



ホッピーだより



No. 472

2024 年 3 月 1 日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook([@HobetsuMuseum](https://www.facebook.com/HobetsuMuseum))

ほうこく 研究報告第 39 号 (3 月 1 日発行) (<http://www.town.mukawa.lg.jp/3389.htm>) の内容紹介

げんちようろんぶん
【原著論文】

The early Cenomanian (Late Cretaceous) ammonoid

Parajaubertella from the Hobetsu area

ほべつちいき
北海道穂別地域から産出したセノマニアン
前期アンモナイト *Parajaubertella*

重田康成 (国立科博)・
いずくらまさたか さつぽろ
伊豆倉正隆 (札幌市),
p. 15—27

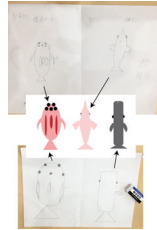


20 mm

げんせい 現生 (今、生きている) のとうそくこう 頭足綱 (イカ・タコ・オウムガイなど) に見られる同種内のにけいげんしょう 二型現象 (≡大・小のペア) が、ぜつめつ 絶滅したアンモナイトの一部でも知られてます。この論文では、ろんぶん 穂別産のほうこく 白亜紀セノマニアン期前期 (1 億年前ごろ) パラジュウベルツテラ (*Parajaubertella*) の二型現象を報告しました。

話せばわかる？—博物館における協力・対話型教育普及プログラム「かくかくしくじら」のねらいとその実践—

田中嘉寛（大阪市立自然史博物館），p. 29—39



2023年10月に開催した化石くらぶなどで開発した教育プログラムについて記しました。

【総説】

北海道むかわ町穂別の古生物学史

西村智弘（穂別博物館），p. 1—14

穂別	北海道	日本	学名	分類群	地質時代	産地	タイプ標本	文献
1870年代	1876年 B. ライマンが日本初の地質図を制作(1/200万北海道地質図)	1875—1885年 E. ナウマン 東京帝国大学初代地質学教授	<i>Mosasaurus hobetsuensis</i> Suzuki, 1985	有鱗目モササウルス科	白亜紀前期マーストリヒチアン期	むかわ町穂別	ホロタイプ：HMG-12	鈴木，1985
			<i>Kentriodon hobetsu</i> Ichishima, 1995	クジラ目セントリオドン科	新第三紀中新世前期	むかわ町穂別	ホロタイプ：HMG-387	Ichishima, 1995
			<i>Mesodermochelys undulatus</i> Hirayama and Chikoku, 1996	カメ目ウミガメ上科オサガメ科	白亜紀前期マーストリヒチアン期	むかわ町穂別	ホロタイプ：HMG-5	Hirayama and Chikoku, 1996
1890年代	横山又次郎 日本で最初の古生物学博士(北海道浦河産アンモナイトなどの研究)		<i>Mosasaurus prismaticus</i> Sakurai et al., 1999	有鱗目モササウルス科	白亜紀カンパニアン期～マーストリヒチアン期	むかわ町穂別	ホロタイプ：HMG-1065	櫻井ほか，1999
			<i>Anomalochelis angulata</i> Hirayama et al., 2001	カメ目スッポン上科ナシシユンケリス科	白亜紀セノマニアン期	むかわ町穂別	ホロタイプ：HMG-1056	Hirayama et al., 2001
1900年代	1903年矢部長克が穂別産を含めた北海道アンモナイト記載		<i>Gaudryceras hobetsense</i> Shigeta and Nishimura, 2013a	頭足綱アンモナイト亜綱	白亜紀最前期マーストリヒチアン期	平取町、むかわ町穂別	ホロタイプ：HMG-1573、パラタイプ：HMG-134, 1594, *	Shigeta and Nishimura, 2013a
	1904年 アンモナイト ニッポニテス(<i>Nipponites mirabilis</i>)記載(小平町・矢部)		<i>Phyllopterychoceras horiai</i> Shigeta and Nishimura, 2013b	頭足綱アンモナイト亜綱	白亜紀最前期マーストリヒチアン期	平取町	ホロタイプ：HMG-1587c、パラタイプ：HMG-1587a, b, d	Shigeta and Nishimura, 2013b
			<i>Angaudryceras compressum</i> Shigeta and Nishimura, 2014	頭足綱アンモナイト亜綱	白亜紀最前期マーストリヒチアン期	むかわ町穂別	ホロタイプ：HMG-136、パラタイプ：HMG-1594—1597, 1626, *	Shigeta and Nishimura, 2014
1930年代	1930年 北海道帝国大学地質学鉱物学教室開設(古生物：長尾均)		<i>Phosphorosaurus poupetelegans</i> Konishi et al., 2015	有鱗目モササウルス科	白亜紀最前期マーストリヒチアン期	むかわ町穂別	ホロタイプ：HMG-1528	Konishi et al., 2016**
	1933—1935年 デスモステルス(<i>Desmostylus</i>)全身骨格発見、記載(南樺太・長尾)		<i>Didymoceras hidakense</i> Shigeta, 2016	頭足綱アンモナイト亜綱	白亜紀後期カンパニアン期前期	浦河町	ホロタイプ：HMG-1660、パラタイプ：HMG-1661—1665	Shigeta et al., 2016
	1934—1938年 恐竜ニッポノサウルス(<i>Nipponosaurus</i>)発見・記載(南樺太・長尾)		<i>Neophylloceras nodosum</i> Shigeta, 2019	頭足綱アンモナイト亜綱	白亜紀後期カンパニアン期前期	里平(新冠・日高町)	ホロタイプ：HMG-1848	Shigeta et al., 2019
	1930年代後半—2000年代 松本達郎(東大—九大)による白亜紀アンモナイトの徹底的な記載		<i>Menites armatus</i> Shigeta, 2019	頭足綱アンモナイト亜綱	白亜紀後期カンパニアン期前期	里平(新冠・日高町)	ホロタイプ：HMG-1913	Shigeta et al., 2019
1940年代	1940年 イノセラムス・ホベツエンシス(<i>Inoceramus hobetsuensis</i>)記載(Nasao and Matsumoto, 1939)		<i>Parasolenoceras ribitense</i> Shigeta, 2019	頭足綱アンモナイト亜綱	白亜紀後期カンパニアン期前期	里平(新冠・日高町)	ホロタイプ：HMG-1955、パラタイプ：HMG-1956, 1957	Shigeta et al., 2019
1960年代	1969年 忠類ナウマンゾウ発見・発掘	1968年フタバスズキリュウ発見(2006年に研究論文発表)	<i>Kamysaurus japonicus</i> Kobayashi et al., 2019	恐竜上目鳥盤目ハドロサウルス科	白亜紀最前期マーストリヒチアン期	むかわ町穂別	ホロタイプ：HMG-1219	Kobayashi et al., 2019
			<i>Mosirites mirabilis</i> Shigeta et al., 2023	頭足綱アンモナイト亜綱	白亜紀前期セノマニアン期	むかわ町穂別、夕張市、幌加内町、稚内市	ホロタイプ：HMG-2412、パラタイプ：HMG-2413-19, *	Shigeta et al., 2024**
1970年代	アンモナイト(多くの北海道産)のさまざまな研究が盛んになる							
	1974年 中川町で首長竜発見(2002年中川町自然誌博物館開設)							
	1975年 ホベツアラキリュウ発見	1976年 エゾミササリュウ発見(1979年三笠市立博物館開設)						
	1977年 ホベツアラキリュウ発見	1976年 アシロア発見(1998年足寄動物化石博物館開設)						
1980年代	穂別町立博物館設立に向けて脊椎動物化石が地元町民から寄贈							
	1982年 穂別町立博物館設立・開館	1985年マタタズミイルカ発見(2002年福井県立恐竜博物館開設)						
	1982年モササウルス・ホベツエンシス発見(1985年発表)	1988—1989年 岡本隆によるニッポニテスなど異常巻きアンモナイト研究(北海道産資料)						
2000年代	2006年 むかわ町穂別博物館に名称変更	2006年 恐竜丹波竜発見(2014年 研究論文発表)						
	2013年～アンモナイト新種複数発表							
	2013—14年 ハドロサウルス科恐竜(むかわ竜)発見							
2010年代	2015年 夜行性モササウルス類フォスロサウルス発表(2009年発見)							
	2017年 むかわ竜が国内最大全身骨格恐竜として発表							
	2019年 むかわ竜を新属新種カムイサウルス・ジャポニクス(<i>Kamysaurus japonicus</i>)と命名(研究論文発表)							

穂別博物館のタイプ標本（新種の基となった標本）のリスト

穂別地域の古生物学史（化石を使った研究の歴史）をまとめました。穂別博物館が設立されてから、この地域の脊椎動物化石の収集と研究が加速したことなどを示しました。

←穂別地域および関連する古生物学史

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2024年 3月

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2024年 4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

休館日

